

日本聖公会 管区事務所だより

日本聖公会管区事務所

162-0805 東京都新宿区矢来町 65

電話 03 (5228) 3171 FAX 03 (5228) 3175

発行者 総主事 司祭 矢萩新一

「2030年とその先を見据えて」

管区事務所総主事 司祭 エッセイ 矢萩新一

「ただ、神の国を求めなさい。そうすれば、これらのものは添えて与えられる。小さな群れよ、恐れるな。あなたがたの父は喜んで神の国をくださる。自分の財産を売って施しなさい。古びることのない財布を作り、尽きることのない宝を天に積みなさい。そこは、盗人も近寄らず、虫も食い荒らさない。あなたがたの宝のあるところに、あなたがたの心もあるのだ。」

(ルカ12:31-34、聖書協会共同訳)

昨年2月の事務所だよりで、SDGs (Sustainable Development Goals・持続可能な開発目標) のことについて少し触れました。2030年のゴール(目標)は、「誰も置き去りにしない」ということです。先日ある番組で、世界の水と食料を巡る危機についての特集を見ました。私たちは今、コロナの危機の中を歩んでいますが、2030年までの10年の間に自然環境やそれに深くかかわる食糧や水を分かち合うことをなおざりにしてしまうと、争いや貧富の差が更に深刻になってしまうという内容でした。

日本で1年間に廃棄される食物を世界に分配すれば、地球上の飢餓は解決するといわれるほど、「おいしいものを安くたくさん食べたい」という、いわゆる先進国の飽食がさらにその危機を加速させています。例えば、牛肉200g²を食するのに牛1頭を育てる飼料栽培に必要な水から換算すると、3200ℓ³(大きめのお風呂10杯分程)にもなると計算されています。ワインや様々な嗜好品についても、同じように現地の人々の口に入るものではないのに大量の水が必要となり、干ばつや農地の荒廃が進んでいる地域もあります。最近では外食を控えるようになり、テイクアウト容器などの「プラ・ゴミ」も急激に増えていますし、裕福なところへ資源や食糧が集中し、今は不自由なく暮らせている人でも、将来は食料や水、エネルギーの危機に見舞われるだろうと言われていいます。現在約70億人の世界人口が、2050年には90億人を超えるとも言われ、「水の奪い合い」が生じれば、物価が高騰し、飢餓人口が急増することになります。

核兵器や原発の開発や使用、脱炭素や再生可能エネルギー

口会議・プログラム等予定

(2021年2月25日以降および

前回未掲載分)

※現時点での予定です。

延期や中止の可能性もあります。

2月

22日(月) 宣教協議会打ち合わせ(Web)

25日(木) 正義と平和・原発問題プロジェクト会議(Web)

26日(金) 宣教協議会実行委員会(Web)

3月

2日(火)～4日(木) 管区共通聖職試験〔各教区〕

5日(金) 年金資金管理委員会〔Web〕

6日(土) 第66(臨時)総会〔管区事務所+Web〕

9日(火) 正義と平和・沖縄プロジェクト会議〔Web〕

10日(水) 教役者遺児教育基金・建築金融資金運営委員会〔管区事務所+Web〕

12日(金) 聖公会・ルーテル教会協議会〔Web〕

16日(火) 人権問題担当者会〔Web〕

25日(木) 正義と平和・原発問題プロジェクト会議〔Web〕

26日(金) 財政主査会〔管区事務所+Web〕

30日(火) 管区共通聖職試験委員会〔Web〕

4月

6日(火) 青年委員会〔Web〕

8日(木) 主事会議〔管区事務所+Web〕

13日(火) 常議員会〔管区事務所+Web〕

15日(木) 正義と平和・原発問題プロジェクト会議〔Web〕

17日(土) ハラスメント防止・対策担当者会〔Web〕

20日(火) 正義と平和委員会〔Web〕

<関係諸団体会議・他>

3月2日(火)～3日(水) 第7回9条世界宗教者会議〔Web〕

13日(土) WCRP 東日本大震災10周年復興祈願式〔仙台〕

15日(月) NCC 第41回総会〔Web〕

.....
 † 4月2日(金) は受苦日のため、管区事務所の業務を休業いたします。よろしくお願いたします。

への転換も、後の世代に負の財産を残さないために、すぐにも私たちが取り組まなければならない課題だと言われています。

大斎始日の福音書でも読みました「あなたがたの宝(富)のあるところに、あなたがたの心もあるのだ。」というイエスキリストの言葉を心に刻みたいと思います。「誰も置き去りにしない」という世界共通の目標をいつも意識して、身近な小さなところから、できるところから始めていくことが、「神の国を求める」私たちの信仰の歩みではないでしょうか。

災害や感染症の不安の中にある方々を覚え、一日も早い安心が回復されますように祈りつつ、主のご復活という希望に生きるものでありたいと願います。

(前頁より)

24日(水) 日本キリスト教連合会常任委員会〔Web〕

4月15日(木)「同宗連」結成40周年記念式典〔京都〕

16日(金)「同宗連」総会〔京都〕

19日(月)キリスト者平和ネット運営委員会〔Web〕

22日(木)日本キリスト教連合会総会〔Web〕

◆2020/11/25(水)より当面、就業時間の短縮と隔日出勤(平日 月・水・金は10:00-16:30 出勤、火・木は在宅勤務)。在宅勤務でもメールの送受信は可能です。

□主事会議

第65(定期)総会期第2回 2021年2月1日(月)
〈主な報告・協議〉

1. 第66(臨時)総会について3月6日(土)13時より各会場を繋ぎZoomにて開催すること、その議案などについて確認した。
2. 管区事務所テレワーク勤務規定について承認し、常議員会に諮ることとした。
3. 教区分担金Iの1ヶ月分の按分還元について、「コロナ禍対策特別協力金」として各教区と連携をはかることとした。
4. マイノリティ宣教センター発行の『からふるな仲間たち』第3集を購入し各教会へ配布することを承認した。
5. ウィリアムズ主教記念基金基金委員会の広報活動として、現客員研究員に管区事務所だよりへの寄稿を依頼することとした。
6. 教役者給与支援システムの支援試算基準教区に関し各委員会で協議を重ねてきた通り、立ち上げ当初に下から3番目であった教区の給与規定を計算基準と定め、試算を行なうことを常議員会に提案することとした。
7. 聖公会センターのエレベーターの改修(約650万円)について承認し、常議員会に諮ることとした。

次回会議：第65(定期)総会后第3回 2021年4月8日(木)

□各教区

東北

- ・東日本大震災10周年記念礼拝 3月11日(木) 東北教区7教会(青森・盛岡・秋田・仙台基督・仙台聖フランシス・福島・郡山)において礼拝。なお、3月13日(土)磯山聖ヨハネ教会礼拝堂跡地「祈りの庭」での記念の祈りは感染症防止対策による緊急事態宣言に鑑み中止。3月11日の礼拝はライブ配信(主教座聖堂)。式文・ライブ映像の配信先は東北教区HPにて案内する。

東日本大震災10周年記念礼拝
3月11日(木) 午後2時15分～

教区内7つの教会で執り行われます。
お近くの教会、もしくはご自宅でお祈りください。

【会場教会】 青森聖アンデレ教会・盛岡聖公会
秋田聖主教座・主教座聖堂 仙台基督教会
仙台聖フランシス教会・福島聖ステパノ教会
郡山聖ペテロ聖パウロ教会

※各会場とも、感染症防止対策を徹底いたします。

東日本大震災10周年記念の祈り
3月13日(土) 午後2時～中止

磯山聖ヨハネ教会 祈りの庭にて執り行う予定でしたが、コロナ禍の状況を鑑みて中止といたします。ご理解のほどよろしくお願いたします。

東日本大震災10周年を覚えて

～同じ時 想いを一つに 皆で祈りを～

2021年3月11日、東日本大震災より10年を迎えます。
例年多くの方にお集まりいただき、大震災の犠牲者のため、今なお困難の中にある方のためお祈りいただいておりますが、本年はコロナ禍にあるため遠方からのお越しはお控えください。例年同様の式文のダウンロードに加え、本年は礼拝のライブ配信も行います。それぞれ可能な方法で想いを一つに、ご一緒にお祈りいただければ幸いです。

ライブ配信
・式文のダウンロード

ライブ配信は東北教区のYouTubeチャンネルより行います。
時間になりましたらご視聴ください。
式文は東北教区ホームページからダウンロード可能です。どうぞお手元にご準備ください。



式文の閲覧・ダウンロード
(東北教区ホームページ)



YouTubeチャンネル

日本聖公会東北教区 東日本大震災被災者支援プロジェクト

東京

- ・第138(定期) 教区会 3月20日(土・休) 礼拝及び議事 9時半～正午 選挙は郵便投票により行なう 教区会館及び各議場教会

大阪

- ・第126(臨時) 教区会 3月21日(日) 15時～17時 日本聖公会大阪教区主教座聖堂(川口基督教会)

□神学校**聖公会神学院**

- ・第102回卒業礼拝 2021年3月1日(日) 13時～ 聖公会神学院諸聖徒礼拝堂 司式: 校長 司祭 中村邦介 説教: 主教 植松誠(北海道教区)
<神学生> 修了 エリサベト三浦千晴

<信徒の奉仕・召命コース> 修了 ダニエル尾関敏明、セバスチャン染谷孝章、ミカエル直井 岳



†逝去者 靈魂のパラダイスにおける光明と平安を祈ります。

主教 ヨハネ岡野利治(京都・退) 2021年1月31日(日) (96歳)

司祭 ベルナルド大川誠(京都・退) 2021年1月31日(日) (71歳)

司祭 パメラ A クーパー (大阪・退) 2021年2月8日(月) (79歳) 1968年 CMS 宣教師として来日。後、大阪教区司祭として2009年3月まで奉仕。

《人事》**北海道**

司祭 エリザベツ阿部恵子	2021年3月31日付	帯広聖公会副牧師の任を解く。
	2021年4月1日付	帯広聖公会牧師に任ずる。
執事 ノア上平 更	2021年3月31日付	札幌キリスト教会牧師補の任を解く。
	2021年4月1日付	札幌聖ミカエル教会牧師補に任ずる。(新札幌聖ニコラス教会牧師補は継続)
司祭 ペテロ大町信也	2021年4月7日付	室蘭聖マタイ教会協働司祭に任ずる。
司祭 ヘレン木村夕子	2021年4月1日付	道北分区における協働司祭に任ずる。(任期1年)
司祭 クリストファー永谷 亮	2021年3月31日付	帯広聖公会管理牧師の任を解く。
	2021年4月1日付	道北分区4教会の管理牧師に任ずる。
司祭 ミカエル広谷和文	2021年3月31日付	旭川聖マルコ教会牧師、深川聖三一教会、留萌キリスト教会、稚内聖公会管理牧師、旭川頌栄保育園チャプレン、紋別聖マリヤ教会協働司祭、紋別幼稚園協働チャプレンの任を解く。
	2021年3月31日付	定年退職とする。
司祭ミ カエル広谷和文(退)	2021年4月1日付	旭川聖マルコ教会嘱託司祭、旭川頌栄保育園チャプレン、稚内聖公会協働嘱託司祭を委嘱する。(任期1年)
司祭 グレゴリー松井新世	2021年4月6日付	釧路聖パウロ教会及び厚岸聖オーガスチン教会牧師、釧路頌栄保育園チャプレンの任を解く。
	2021年4月7日付	苫小牧聖ルカ教会牧師、室蘭聖マタイ教会管理

司祭 サムエル吉野暁生	2021年4月6日付	2021年4月7日付	牧師、苫小牧聖ルカ幼稚園チャプレンに任ずる。 苫小牧聖ルカ教会牧師、室蘭聖マタイ教会管理牧師、苫小牧聖ルカ幼稚園チャプレンの任を解く。 釧路聖パウロ教会牧師及び厚岸聖オーガスチン教会管理牧師、また釧路頌栄保育園チャプレンに任ずる。
司祭 パウロ内海信武(退)	2021年4月1日付		平取聖公会及び新冠聖フランシス教会での囑託司祭、またバチラー保育園チャプレンを委嘱する。(委嘱期間1年)
司祭 アンデレ甲斐博邦(退)	2021年4月1日付		深川聖三一教会囑託司祭、留萌キリスト教会協働囑託司祭、また、あけぼの保育園チャプレンを委嘱する。(委嘱期間1年)
司祭 ダビデ藤井八郎(退)	2021年4月1日付		函館聖ヨハネ教会及び今金インマヌエル教会での囑託司祭を委嘱する。(囑託期間1年)
聖職候補生 エリザベト三浦千晴	2021年4月1日付		札幌キリスト教会及び聖マーガレット教会での勤務を命ずる。

東京

主教 フランシスコ・ザビエル高橋宏幸	2021年4月4日付		渋谷聖公会聖ミカエル教会管理牧師の任を解く。聖公会八王子幼稚園チャプレンの任を解く。
司祭 ペテロ井口 諭	2021年3月31日付	2021年3月31日付	正義と平和協議会議長、小平墓地委員会委員長、および聖職試験委員会委員長の委嘱を解く。 定年により退職とする。
司祭 ペテロ井口 諭(退)	2021年4月1日付		神田キリスト教会囑託司祭を委嘱する。(任期1年)
司祭 パウロ宮崎 光	2021年4月4日付	2021年4月5日付	聖パウロ教会管理牧師の任を解く。 大森聖アグネス教会管理牧師に任命する。
司祭 セラピム高橋 顕	2021年4月1日付		神田キリスト教会管理牧師に任命する。
司祭 アモス金 大原	2021年3月31日付	2021年4月1日付	立教学院出向を解く。 香蘭女学校チャプレンに任命する。
司祭 マリア・グレイス笹森田鶴	2021年4月4日付	2021年4月4日付 2021年4月5日付	東京聖十字教会管理牧師の任を解く。 三光教会牧師に任命する。
司祭 ニコラス中川英樹	2021年4月5日付		東京聖三一教会管理牧師の任を解く。 渋谷聖公会聖ミカエル教会管理牧師に任命する。
司祭 ヨナ成 成鍾	2021年3月31日付	2021年4月4日付	香蘭女学校チャプレンの任を解く。 三光教会牧師の任を解く。大森聖アグネス教会管理牧師の任を解く。

	2021年4月5日付	八王子復活教会牧師に任命する。聖公会八王子幼稚園チャプレンに任命する。聖パトリック教会管理牧師に任命する。
司祭 ナタナエル池 星熙	2021年4月4日付	聖パウロ教会副牧師の任を解く。
	2021年4月5日付	聖パウロ教会牧師に任命する。
司祭 シモン林 永寅	2021年4月4日付	東京聖三一教会副牧師の任を解く。
	2021年4月5日付	聖愛教会牧師に任命する。
司祭 ロイス上田亜樹子	2021年4月1日付	葛飾茨十字教会管理牧師に任命する。
司祭 バルナバ菅原裕治	2021年4月1日付	聖職試験委員会委員長を委嘱する。(任期2021年12月31日)
	2021年4月4日付	聖パトリック教会牧師の任を解く。八王子復活教会管理牧師の任を解く。
	2021年4月5日付	東京聖三一教会牧師に任命する。
司祭 シモン・ペテロ上田憲明	2021年4月1日付	聖路加国際大学聖ルカ礼拝堂牧師(チャプレン)に任命する。
司祭 ケビン・シーバー	2021年3月31日付	聖路加国際大学聖ルカ礼拝堂牧師(チャプレン)の任を解く。
	2021年4月1日付	願いにより、休職を許可する。ただし1年間
司祭 ヨハネ塚田重太郎	2021年4月4日付	聖愛教会管理牧師の任を解く。
執事 セシリア下条知加子	2021年4月1日付	葛飾茨十字教会牧師補に任命する。
司祭 オーガスチン杉山修一(退)		
	2021年4月1日付	渋谷聖公会聖ミカエル教会嘱託を委嘱する。(任期1年)
		香蘭女学校嘱託チャプレン(非常勤)を委嘱する。(任期1年)
司祭 ダビデ倉澤一太郎	2021年4月1日付	小平墓地委員会委員長を委嘱する。(任期2021年12月31日)
横浜		
司祭 バルナバ大野清夫	2021年3月31日付	清里聖アンデレ教会牧師を解任する。
	2021年4月1日付	市川聖マリヤ教会牧師、柏聖アンデレ教会管理牧師に任命する。
司祭 サムエル小林祐二	2021年3月31日付	横浜聖アンデレ教会牧師、川崎聖パウロ教会管理牧師を解任する。
	2021年4月1日付	清里聖アンデレ教会牧師に任命する。
司祭 ダビデ渡部明央	2021年3月31日付	市川聖マリヤ教会牧師、柏聖アンデレ教会管理牧師を解任する。
	2021年4月1日付	横浜聖アンデレ教会牧師、川崎聖パウロ教会管理牧師に任命する。
中部		
司祭 イサク伊藤幸雄	2021年3月31日付	定年により退職とする。 高田降臨教会牧師、直江津聖上智教会牧師、飯山復活教会管理牧師の任を解く。

司祭 イサク伊藤幸雄(退)	2021年4月1日付	主教アシジのフランシス西原廉太のもとで、高田降臨教会において、囑託司祭として勤務することを委嘱する。(任期1年)
	2020年4月1日付	司祭洗礼者ヨハネ大和孝明のもとで、飯山復活教会において、主日礼拝等への協力を委嘱する。(任期1年)
司祭 テモテ島田公博	2021年3月1日付	定年により退職とする。 長野聖救主教会、稲荷山諸聖徒教会、新生礼拝堂主日礼拝勤務の任を解く。
司祭 テモテ島田公博(退)	2021年4月1日付	司祭マリア大和玲子のもとで、長野聖救主教会、稲荷山諸聖徒教会、司祭洗礼者ヨハネ大和孝明のもとで、新生礼拝堂において、主日礼拝等への協力を委嘱する。(任期1年)
主教 アシジのフランシス西原廉太	2021年3月31日付	岡谷聖バルナバ教会管理牧師の任を解く。
	2021年4月1日付	高田降臨教会管理牧師に任命する。
司祭 テモテ土井宏純	2021年3月31日付	稲荷山諸聖徒教会管理牧師の任を解く。
	2021年4月1日付	主教補佐として、中部教区各教会において、主日礼拝等への協力を委嘱する。
司祭 フィデス金 善姫	2021年3月31日付	高田降臨教会、直江津聖上智教会における主日礼拝協力の任を解く。
	2021年4月1日付	直江津聖上智教会管理牧師に任命する。
司祭 洗礼者ヨハネ大和孝明	2021年4月1日付	飯山復活教会管理牧師に任命する。 直江津聖上智教会において、主日礼拝への協力を委嘱する。
司祭 ダビデ市原信太郎	2021年4月1日付	岡谷聖バルナバ教会管理牧師に任命する。
司祭 マリア大和玲子	2021年4月1日付	稲荷山諸聖徒教会管理牧師に任命する。
司祭 マルコ箭野眞理(退)	2021年4月1日付	司祭エリエゼル中尾志朗のもとで、豊橋昇天教会、豊田聖ペテロ聖パウロ教会において、囑託司祭として勤務することを委嘱する。(任期1年)
司祭 ペテロ田中 誠(退)	2021年4月1日付	司祭フランシス江夏一彰のもとで、松本聖十字教会、司祭ダビデ市原信太郎のもとで、岡谷聖バルナバ教会において、主日礼拝等への協力を委嘱する。(任期1年)
主教 サムエル大西 修(退)	2021年4月1日付	愛岐伝道区内各教会において、主日礼拝等への協力を委嘱する。(任期1年)
主教 ペテロ渋澤一郎(退)	2021年4月1日付	長野伝道区内各教会において、主日礼拝等への協力を委嘱する。(任期1年)

神戸

執事 テモテ遠藤洋介	2021年2月10日付	神戸聖ミカエル教会牧師補の任を解く。
	2021年2月11日	公会の司祭に接手される。
司祭 テモテ遠藤洋介	2021年2月11日付	神戸聖ミカエル教会副牧師に任命する。

	2021年3月31日付	神戸聖ミカエル教会副牧師の任を解く。
	2021年4月1日付	東北教区出向を命ず。(2024年3月31日まで・3年間)
司祭 トマス河村博之	2021年4月1日付	主教座聖堂付を命ず。
司祭 オーガスチン與賀田光嗣	2021年4月1日付	神戸聖ミカエル教会主日勤務を命ず。
司祭 バルナバ瀬山会浩	2021年4月1日付	神戸松蔭女子学院大学チャプレンとして派遣する。(2022年3月31日・1年間)
司祭 ヨシユア長田吉史	2021年4月1日付	神戸松蔭女子学院大学チャプレンとして派遣する。(2022年3月31日・1年間)
九州		
司祭 ステパノ中村 正	2021年3月31日付	定年により退職とする。 佐世保復活教会、厳原聖ヨハネ教会牧師の任を解く。
司祭 ステパノ中村 正(退)	2021年4月1日付	管理牧師主教ルカ武藤謙一のもとで佐世保復活教会において囑託司祭として勤務することを委嘱する。また厳原聖ヨハネ教会主日礼拝協力を委嘱する(月1回)。(任期1年)
聖職候補生 マグダラのマリヤ島 優子		
	2021年3月31日付	福岡聖パウロ教会勤務の任を解く。
	2021年4月1日付	管理牧師主教ルカ武藤謙一のもとで戸畑聖アンデレ教会に勤務することを命じる。また管理牧師主教ルカ武藤謙一のもとで厳原聖ヨハネ教会に勤務することを命じる。(住居は戸畑聖アンデレ教会)。
司祭 ダビデ中島省三(退)	2021年4月1日付	管理牧師主教ルカ武藤謙一のもとで鹿児島復活教会において囑託司祭として勤務することを委嘱する。(任期1年)
司祭 キャサリン吉岡容子(退)	2021年4月1日付	八幡聖オーガスチン教会、宗像聖パウロ教会主日礼拝協力(各月1回)を委嘱する。(任期1年)
司祭 パウロ濱生正直(退)	2021年4月1日付	久留米聖公会、福岡ベテル教会主日礼拝協力(各月1回)を委嘱する。(任期1年)
司祭 バルナバ壺岐裕志(退)	2021年4月1日付	福岡ベテル教会、福岡聖パウロ教会主日礼拝協力(各月1回)を委嘱する。(任期1年)
主教 ルカ武藤謙一	2021年4月1日付	佐世保復活教会管理牧師、厳原聖ヨハネ教会管理牧師に任命する。
パウロ 中山泰男	2021年1月18日付	日本聖公会聖職候補生に認可する。

《教会・施設》

長岡聖ルカ教会(中部)

TEL/FAX 番号 現在使われておりません。ご用の際は中部教区センター TEL 052-858-1007 まで。

各教区へ「コロナ禍対策特別協力金」を

—《コロナ禍》には負けない気持ちで—

約一年前忍び寄ってきたCOVID-19。あっという間に全世界を席捲した新型ウイルスは私達の《いつもの教会生活》を奪ってしまいました。声を掛け合って一堂に集り、祈って、聖餐をいただき、賛美して、遣わされる、ことが全く叶わなくなったのです。教区によっては、礼拝参加人数や時間帯を調整したり、止むを得ず公開の礼拝を休止することもありました。

「祈り」を守りながら、それでも気になったのが、教会の会計事情です。一番の支えである「献金」がストップするのだから？こんな身近な心配

から、各教区に財政事情アンケートをお願いしたり、管区もリモート会議に切替え、財源確保、経費節約に努めた結果、管区の昨年度末収支は黒字になりました。各教会、各教区の皆様のご協力あってこそ、と感謝です。そこで、その一部を《コロナ禍対策特別協力金》として各教区にキックバックさせて戴くことにいたします。新型コロナウイルスにはそう簡単に勝ち目がありませんが、《コロナ禍》には負けないぞという気持ちで、これからもどうぞよろしくお願い致します。

(管区財政主事 鈴木裕子)

■立教学院奨学金についてのお知らせ

立教学院では、1998年度に「聖公会教役者の子及び聖公会神学院校長の推薦する大学院学生に対する立教学院奨学金規程」を制定し、聖公会教役者の子である立教学院各学校の児童・生徒・学生に対し、奨学金を交付しております。

交付は1年間で、次年度以降も申請できます。

各校の申請期間・対応窓口は次の通りです。

大学・大学院	…4/1～4/23	財務部経理課
新座中高・池袋中高	…4/1～4/23	事務室
小学校	…4/1～4/23	事務室

※窓口業務時間内のみ対応。期間厳守。

お問い合わせ：立教学院 (03-3985-2752)



■訂正をお願いします。

*『聖公会手帳』

訂正箇所：36頁 吉村庄司〈東京 退・司祭〉 電話番号（誤）06-6628-4757

（正）090-2626-2926

*『日本聖公会要覧 2019-2020』

訂正箇所：36頁 横浜教区 常置委員（誤）高橋 保 →（正）岩井譲治

46頁 中部教区 長岡聖ルカ教会の TEL/FAX 番号を削除。

自分の中のデコボコを平らにする

— 「正義と平和委員会」が目指すもの —

正義と平和委員会 委員長 主教 ダビデ上原榮正

呼びかける声がある。主のために、荒れ野に道を備え／わたしたちの神のために、荒れ地に広い道を通せ。谷はすべて身を起こし、山と丘は身を低くせよ。険しい道は平らに、狭い道は広い谷となれ。(イザヤ40章3、4節)

2021年、世界はコロナ禍の中にあります。不安や恐れの中で、少しでも他者の助けになろうとして、食料など生活に必要な物資を集めて、困窮者を支援している人々がおられます。一方で、コロナなど関係ないかのように過ごされている人々の姿を見かけます。生活を支える経済を優先するか、それとも命を支える医療を優先するのか、社会も個人も分断されています。

教会には、預言者的な務めがあります。預言者は神さまのみ言葉を告げ、罪を示し、人々に悔い改めへと導きました。コロナ禍の中、今何が起きているのか、私たちはどうすればよいのか、教会として問われています。

コロナは経済格差を広げ、生活困窮者を生み出しています。多くの人がゆとりを無くし、周囲への配慮より、自分と家族を優先させています。社会の底辺に働く人や陰に隠れている人たちへ配慮や関心は小さくなりました。

先進医療のある国ではワクチン接種も始まりました。しかし、発展途上国では接種の見通しは立っていません。自国優先策は貧しい国への支援を後に回し、失業者と貧困層を増し、飢餓人口を増加させていると国連が報告しています。

イエスさまは、「私は、小さく弱くされた人々の

中にいる」(マタイ25:40)とおっしゃいます。神さまが望まれるこの世の神の国は、小さい、弱い人たちが大切にされ、誰もが自由に平和に生きることが出来る世界です。人権が守られ、正義と公平が行なわれる世界です。

キリストは、「**天の国に入りたい人は、子どものように、自分を低くしなさい**」、「**天の国では子供のようになる人がいちばん偉いのだ**」(マタイ18:3、5)と教えられました。しかし、この世界は子どもの頃から、強い者、持てる者、人の上に立つ者となることを教えます。仕える者ではなく、仕えられる者となれと教えます。

強者や富者、所謂勝ち組が優遇される社会は住み難い、生き辛い世界です。教会が目指す世界は、貧しい人、弱者、障がい者など少数者の人にも住み易い優しい社会です。誰にも居心地の良い世界です。

教会が弱者や少数者の権利の回復に取り組むことを、「社会運動だ、政治活動だ。」として、「教会は政治や社会問題に関わるべきではない。福音を説き、魂の救済を取り扱うべきだ」と述べて、避ける人たちがおられます。

1960年代、70年代、米軍との安全保障条約改定を巡って安保闘争、共産主義社会への変革を求めた学生運動、大阪万博開催や沖縄復帰などを巡って、多くのストライキや運動が繰り広げられました。

安保闘争では国会で強行採決が行なわれ、米軍駐留が決定しました。沖縄の米軍基地は残され、基地は強化され、安保の押し付けが続いています。学生運動は過激になり、暴徒化し、

道を外れて、国民の支持を失いました。

教会でも政治と信仰を巡り論争がありました。教会は運動に距離を取るようになりました。信徒には、社会の変革や運動に賛成派も反対派もいるからです。沖縄では祖国復帰運動の最中、警察機動隊とデモ隊が衝突し、警官が殴打され、火炎瓶で火だるまになり死亡するという事件が起きました。聖公会の信徒でした。

この事件の後、教会の中で復帰運動を巡る論争はなくなりました。タブーとなりました。信徒の間でも政治の話はしなくなり、多くの学生が教会を去っていきました。教会は個人の魂の救済に専念するようになりました。

聖職・信徒の中にもいろんな立場の人がおられます。教会は宗教と政治を分離することで、分裂の危険から遠ざかってきました。政治と宗教の分離により信徒間の争いを避け、教会内部の分断を防いできました。教会は、それが平和で安全な方法だと考えてきました。

しかし、周りにはいろんな問題があります。被差別部落、ジェンダー、障がい者、貧富の格差、貧困、難民、原発、核兵器、地球環境、ゴミ処理、温暖化、ヘイト発言、DV（家庭内暴力）、LGBT、アイヌ、在日、沖縄の米軍基地などです。人が人として生きる権利と自由が阻害され、奪われています。それらを回復し、人々を一致へと導くことも教会の務めです。

「荒れ野に道を備え、わたしたちの神のために、荒れ地に広い道を通せ。」(イザヤ40:3)。第2イザヤのみ言葉です。バビロン捕囚の末、キュロスの布令によってイスラエルの民に、母国への帰還が許された時代のものです。バビロンからエルサレムに向かう道を広く、真直ぐに、平らにして、速やかにイスラエルの民が母国に帰れるようにして下さい、と述べます。

「荒野や谷、山」は、荒れた世界であり、人の価値や命が高低したこの世の有様でもありま

す。差別や偏見、搾取や収奪が行なわれているこの世界のことです。社会の中で小さく弱くされている人は顔を上げ、頭を持ち上げ立ち上がれ。反対に、力や権力を握り、驕り高ぶっている人は頭を垂れて低くなれ、皆が等しい者となれと、神さまの命令に聞こえます。

自然科学者たちは、今地球は分岐点にいると告げています。二酸化炭素・CO₂の排出が増加し、地球温暖化が進み、2030年までに今より摂氏1・5度以上温度が上昇すれば、地球は自然を回復する力を失い、暴走すると警告しています。私たちには、次世代の人々へ美しい地球を残していくという義務があります。

強国は戦争のための軍備や基地の増強、武器開発などに多額の予算を費やしています。しかし、地球環境を破壊し、覇権争いをしている余裕はありません。世界各国が資金を供出し、貧困と地球温暖化に歯止めをかけなければ、取り返しがつかなくなくなります。誰もが平和と自由に生きる世界を目指さなければ、地球は制御を失い、私たちの生活は破滅します。世界中の全ての人々の協力が必要です。

教会が福音を説き宣教するとは、あのサムリア人のように傷ついたユダヤ人に手当てをし、回復へと導くことです。そのためには、憎しみや争う心を捨て、相手をいたわり、譲ることです。愛することです。愛されると、人は肉の体も魂も心も癒され元気になります。傷の手当は、社会にも地球にも必要です。

しかし、他人や社会に変革を求めることは出来ません。大切なことはイエスキリストの十字架の跡を歩めるように、聖書のみ言葉によって自らを打ち叩き、他人よりも自分を愛する、自分自身の醜いデコボコを平らにすることです。私たち1人1人が、「**地の塩、世の光**」となれるように、新しい人へと造り変えられることです。それは、「正義と平和委員会」が目指したいものです。

《特集》 2021年「各教区正義と平和担当者の集い」(報告) —コロナウイルス禍のもと Web 会議システムで開催—

管区・正義と平和委員(沖縄プロジェクト) 司祭 サムエル小林祐二

本年の「正義と平和担当者の集い」は、新型コロナウイルス感染の影響を受け、1月12日(火)にウェブ会議システムを用いて開催されました。例年の1泊2日のプログラムを圧縮し、13時より担当者会、17時から正義と平和委員会を挟み19時からは公開学習会というプログラムとなりました。時間的な制約があったにせよ、例年どおり各教区正義と平和担当者、および管区正義と平和委員会の報告・協議を行なうことができましたこと、感謝いたします。全国的ではないにせよ、1月8日に発出された緊急事態宣言により礼拝休止・非公開等を判断する教区・教会もあるなかでしたが、本年も全教区の担当者から1年間のご報告をいただくことができました。各教区からの報告を要約してお伝えします。

○北海道教区(宣教活動推進部「教会と社会」グループ)

例年の主催行事「平和について考える集い」「人権について考え祈る集い」は中止。9月の管区人権セミナーは来年度に延期。北海道教区が事務局を担い3月に道内各地で実行予定であった映画「福島は語る」の上映会は12会場中4会場で実施。

協賛活動は、延期・紙面決議・オンラインとしたものもあるが、札幌キリスト教会の「留学生と分かち合う金曜ランチ」は教会前での弁当配布、冬物衣料の提供を行なっている。

○東北教区

新型コロナウイルスの影響により教区としての働きはほとんどなかったが、「国際平和デーに全国で平和を祈る鐘打協力のお願い」の実施、「2020戦争証言集」の共有を可能なところは実施。Web会議等になれてきているように思われるので、活用を考えている。

○北関東教区

活動が困難であった。困難のうちにある人びとを憶えて代祷をささげること、使用済み切手活用の働きに参与すること等を行なっている教会もある。それぞれの教会が、厳しい環境にある人びとに対してできる範囲で支援している状況。

○東京教区(正義と平和協議会)

正義と平和に関する活動・事業にかかわる個人(32)また団体(14)によって組織されている。1月に協議会を開催することができたが、2回目以降は休止となった。沖縄週間/沖縄の旅、広島平和礼拝、長崎平和の集いへの参加者支援を行なっているが、本年は支援先がなかった。加盟団体も活動が限定されたため支援要請はなく、また平和メッセージの発行もなかった。

○横浜教区(協働主事会・宣教主事)

社会委員会では2019年12月12日にMTS船舶訪問活動に参加し、各地から集められたクリスマスプレゼントを船員たちに届けた。8月1日の第26回英連邦戦没捕虜追悼礼拝への参列を教区内に呼びかけ、多数の参列者があった。品川入国管理局・牛久収容所での収容者への面会活動は開催できなかったが、事務局長を務められた佐藤直子姉から難民問題に関するお話をオンラインでお聞きするプログラムを検討中。

関東三教区生野委員会、エッファター障がいと共に生きる集い—は具体的プログラムが開催できなかった。寿町プロジェクトは寿町のニュース広報、日本基督教団神奈川教区・寿地区センターと協働しての献品を継続。

○中部教区(宣教局 社会宣教部)

部会の開催は一回のみ。管区「戦争証言集」続編に向けての原稿依頼・収集。『死刑執行に断固抗議すると共に、直ちに死刑の執行を停止するよう要請します』を2020年1月8日付で内閣

総理大臣、法務大臣宛送付。カトリック名古屋教区正義と平和委員会と共に学習会「日韓の対立から誓いへ」、DVD鑑賞会「沖縄スパイ戦史」鑑賞会を開催。管区行事も中止となり、参加者を派遣できなかった。

ここ数年、年末の死刑執行が恒例となっており、執行に対しては今後も抗議声明を出す予定。死刑判決後に信仰の道に入った仲間がいることを是非覚えてほしい。ウェブ会議システムにも馴れてきたので、部員の地域的偏りを超えたい。2022年の日本聖公会宣教協議会に向け、社会宣教の課題を部会で議論する予定。

○京都教区(宣教局報告から)

礼拝部では大阪教区との協働による「共に祈る2020 聖餐式」では柳時京司祭を説教者に迎え、日韓の平和について考える礼拝として企画。2021年度に延期。

社会部は映画「福島は語る」上映会を平和学習委員会と共催することとしたが、新型コロナウイルスの影響により開催時期は未定。

教育部はJ'sキャンプ2020春を沖縄で開催し、嘉手納砂辺、辺野古、伊是名島、高江、愛楽園などを訪問する予定であったが中止。

平和学習委員会は、教会訪問(年2～4回)により「平和」をテーマに様々な思いを聴き合う場を設けてきた。大阪教区にも拡大したいと考えたが、新型コロナウイルスの影響により中止・延期。

教会訪問によってよせられた声を全国から集め、11教区で分かち合う機会ができれば有意義ではないかと思っている。

「戦争体験集続編」の呼びかけに対し、数名の寄稿があった。

○大阪教区(「社会宣教委員会」「在日韓国・朝鮮人宣教協働委員会」と連携)

新型コロナウイルスの影響により対面による活動ができず、ウェブ会議を取り入れて今日に至る。

「外国人との共生をめざす関西キリスト教代表者会議」「外国人との共生をめざす関西キリスト

教連絡協議会」「カトリック大阪大司教区」が共催して毎年10月第3日曜日に開催される「インターナショナル・デー」が20年間開催されてきたが、本年は休止。各教団の各教会において、共通の趣旨で祈りを献げることを呼びかける。

教区内各教会で以下の三点を可能な限り実施するよう呼びかけた。

①主日礼拝の中で「インターナショナル・デー」の祈りを献げる。

②当教区外国人教役者の「対談DVD」を視聴する。

③本年も「『外国人住民基本法』と『人種差別撤廃基本法』の制定を求める国会請願書」の署名呼びかけをする。

教区が加盟している正義と平和にかかわる団体のうち、「外国人との共生をめざす関西キリスト教代表者会議」「外国人との共生をめざす関西キリスト教連絡協議会」の活動として、数年前から外国人住民の尊厳が守られるよう実情調査・行政交渉を進めているが、感染症予防の観点から実施見送り。2019年11月にカトリック大阪大司教館で行なった「外国人住民に聴く集い」も2020年は見送ったが、来年の開催に向け準備を行なう。

2019年の第123 定期教区会で「桃山学院教育大学の式典等で『日の丸掲揚』、『君が代斉唱』を行なわないよう求める要望書を同大学に送る件」が承認され、要望書は同大学事務局職員に手渡された。

○神戸教区

新型コロナウイルスの影響により広島平和礼拝をはじめ、正義と平和に関わる社会部としての働きは開催できなかった。2021年度の予定も立てられない状況。

○九州教区

①2019年教区会で決議された「『原発のない世界』声明について学ぶこと」を伝道部が担当。「原発・環境問題の学び、気候危機状況に関わる宣教・伝道の模索」に取り組む。

②5月7日に「福島は語る」試写会を予定した

が、新型コロナウイルスの感染拡大により、延期。資料とチラシは各教会・関連施設に配布済。

③6月7日、「地球環境のために祈る日」に際し、以前に配布した「原発・環境問題の学び、気候危機状況に関わる宣教・伝道の模索」として「原発のない世界を求める国際協議会報告書」、「管区発行の原発に関するQ&Aの冊子」をもう一度学ぶことを勧誘。「ミランダさん講演のDVD」を伝道部が編集して各教会に配布。

④長崎原爆記念礼拝は九州教区と長崎聖三一教会が主催し、8月9日(日)長崎聖三一教会にて「被爆74年、長崎原爆記念礼拝～死の同心円から平和の同心円へ～」として開催。礼拝後、長崎原爆投下前後の状況と原爆開発者の広島訪問時の画像資料を上映、被爆体験者で核兵器反対運動に取り組みされた故谷口稜嘩(すみてる)氏の証言を代読。各教会には、長崎原爆記念日に関する代祷、谷口氏の証言を配布し読み合わせを依頼。

広島平和礼拝に宣教局長が参列。

⑤11月の第115教区会にて「原発のない世界を求める国際協議会声明に賛同する」を決議。

⑥教区会前の教会報告中、各教会・伝道所の「正義と平和」「人権」に関する取り組み、原発に関する学びについてアンケートを実施、教区会諸報告の教会報告に掲載。

⑦正義と平和担当者による「福島は語る」上映会の提案と準備、長崎原爆記念礼拝のつどい企画・運営協力、管区担当者からの連絡を適宜教区内配信。

⑧教区伝道部として2021年も「原発・環境問題の学び、気候危機状況に関わる宣教・伝道の模索」を継続。

⑤のアンケートによりあげられた教区内各教会・伝道所の「正義と平和」の取り組み、「原発・環境問題の学び、気候危機状況に関わる宣教・伝道の模索」についてのアイデア・疑問・質問について報告。

○沖縄教区

2020年の沖縄週間／沖縄の旅は新型コロナ

ウイルスの影響を鑑み「沖縄Zoomの集い」に変更し、オンラインで開催「管区事務所だより」にて既報。

* *

正義と平和委員会の各部門からの報告は、日本聖公会第65(定期)総会や管区事務所便りにて報告されたものと重複が多いため、割愛します。

○夕の祈り

1983年にバンクーバーで開催された第6回WCC(世界教会協議会)による式文「世界は泣いている」が用いられ、太平洋・アジア・ヨーロッパ・中東・アフリカ・ラテンアメリカ・カリブ海・北アフリカ・カナダ先住民からの告白を聴き、正義と平和のために祈りました。

○公開学習会

担当者会はインターネット会議室システムのZoomで行なわれましたが、公開学習会はその会議をYouTubeに接続してライブ配信するかたちで行なわれました。大阪教区退職の岩城聰司祭より、「パレスチナ問題と福音理解」と題し、1時間のお話をいただきました。

* *

この集い自体がそうであったように、各教区とも感染症のリスクと向き合いつついかんして活動を継続するかが問われ、その方法を模索した一年であったと言えるでしょう。今しばらく「コロナ禍」は続くと思われませんが、担当者それぞれの働きを通じ、日本聖公会の諸教会に連なる一人ひとりが福音に基づく正義と平和の道を歩み続けることができますように。

世界の聖公会の動向

- ☆ カンタベリー大主教が、病院の牧師ボランティアとして Covid-19 ワクチン接種を受ける
- ☆ 地球環境保護提唱者のエリナ・ワムコヤ主教がコロナウイルスにより逝去
- ☆ アサンテ・マンボン主教がガーナの大使に選出される

管区渉外主事 司祭 ポール・トルハースト

○カンタベリー大主教が、病院の牧師ボランティアとして Covid-19 ワクチン接種を受ける

先日、カンタベリー大主教ジャスティン・ウェルビー師が Covid-19 ワクチンの初回接種を受けた。師は、ランベス宮殿の公邸正面にあるロンドン中心部の聖トマス病院で、医療チャプレンとしてボランティア活動をしていたため、ワクチン接種を受ける資格を有していた。師はパンデミックの期間、同病院でボランティア活動を行ない、チャプレンチームの一員として患者、スタッフ、訪問者に精神的なケアとサポートを提供してきた。

ジャスティン大主教は次のとおり述べた。「私はすべての人に対して、機会が訪れたら Covid-19 ワクチンを接種することを奨励したいと思います。世界中の医療従事者は、このパンデミックの間中、計り知れないプレッシャーにさらされています。彼らは、私たちの賞賛だけにとどまらず支援を受けるべき存在です。つまり、私たちが機会を得てワクチンを接種することは、彼らの負担を軽減するために私たち全員ができることなのです。ワクチンの迅速な開発は祈りへの応答であり、この恐ろしいパンデミックからの回復の柱となるものです。イエス・キリストは、自分自身のように隣人を愛するようにと私たちに呼びかけておられます。ワクチンを接種することは、その務めの一部となるものです。私たちはこの恐ろしい感染症からお互いに健康を保つことによって、他者への愛を示すことができるのです。」

実は、英国聖公会の3か所の大聖堂（リッチフィールド、ソールズベリー、ブラックバーン）は、イングランドで開設された10か所の Covid-

19 ワクチン接種センターの中に含まれている。

ブラックバーン大聖堂の主任司祭であるピーター・ハウエル・ジョーンズ師は、「キリスト教の信仰の中心にあるのは愛ともてなしであり、すべての人々を思いやる神です。国家の緊急時に、このエキサイティングな予防接種プログラムのための安全でアクセスしやすい空間として私たちの建物を提供し、深刻な不確実性と恐怖の時代にあつて国家に奉仕するためにここにいることは当然のことなのです。」と述べた。

○地球環境保護提唱者のエリナ・ワムコヤ主教がコロナウイルスにより逝去

スワジランドのエリナ・ワムコヤ主教が Covid-19 に感染し、先日逝去された。彼女の死は、ケープタウン大主教タボ・マクゴバ師（南アフリカ聖公会首座主教）によって発表された。69歳だった。

ワムコヤ主教は2012年にスワジランド主教に選出され、アフリカ地域の聖公会で初めての女性の主教となった。彼女は以前、エスワティニの商業拠点都市であるマンジニにおいて、シティ・プランナーを経て町役場書記を務めた経歴をもち、都市および地域計画の修士号を取得していた。

エリナ主教は、自らの教区、南アフリカ聖公会、そしてさらに広範囲のアングリカン・コミュニオン全体でも、環境問題の提唱者として広く知られていた。2016年、BBC ニュースは彼女を「世界で最もインスピレーションを与え影響力のある女性100人」の一人に挙げていた。

○アサンテ・マンボン主教がガーナの大主教に 選出される

アサンテ・マンボン教区の主教、シリル・コリーナ・ベン＝スミス博士は、西アフリカ聖公会(CPWA)にあるガーナ管区の次期大主教になる。シリル主教は、先日退職したダニエル・インカ・サルフォ大主教の後を継ぐことになる。CPWAにはガーナ管区と西アフリカ管区の2つの内部管区があり、首座主教職はこの2つの管区を交互に行き来している。

シリル主教はケープ・コーストの聖ニコラス聖公会神学校を卒業後、海外で勉強を続けた後、イギリスのバーミンガムにあるUSPGのセリー・オーク・カレッジでの勤務を含め、長いキャリアを積んできた。ガーナで接手を受けた後、ソウル、カーディフ、ロンドンの各教区で奉職した経験ももつ。

○東・中央アフリカで初めてとなる女性の主教が 誕生

主任司祭のエミリー・アウィノ・オニャンゴ師が、ケニヤ聖公会のボンド教区で補佐主教として奉仕するように任命された。これにより、彼女は東・中央アフリカ地域で初の女性の主教となる。

エミリー主教は1984年に執事に接手され、2年後に司祭となった。2018年2月、彼女はボンド教区の主任司祭に任命されていた。

彼女に与えられた新しい役割として、エミリー主教は聖職者の訓練、教会内での女性のミニストリー、そして少年少女のエンパワメントを含むジェンダー問題の責任者となり、ジェンダーに基づく暴力への対策に取り組むことになる。

○アングリカン・コミュニオン事務局の運営体制が変更される

アングリカン・コミュニオンの常任委員会は、アングリカン・コミュニオン・オフィス(ACO)の運営上の優先事項の変更を発表した。これにより、更に調整的な役割を担うことになり、諸管区、地域、ネットワーク、機関に焦点を当てたプ

ログラムに関わる活動を担当することになる。

レビューによると、ACOの活動はコミュニオンの柱を支援すること、地域または管区内では効果的に実施できない要素を支援することに焦点を当てるべきであると勧告された。

さらに「現在、プロジェクトやプログラムの業務を支配している中央集権的なアプローチは、多様性と包摂性に悪影響を及ぼしており、コミュニオン内の文化や多様性、特にコミュニオン内で英語を母国語としていない、あるいは国や管区の公用語として英語が使用されていない地域の文化や多様性が反映されていない」と述べられている。

ACCの代表であるカンタベリー大主教ジャスティン・ウェルビー師は次のように語った。「アングリカン・コミュニオンは世界的な教会のファミリーであり、イエス・キリストの福音を様々な文脈の中で分かち合うために召されています。今回の見直しは、私たちが必要とされる世界に奉仕しようとする中で、聖公会全体で各管区の賜物、資源、知恵をどのように活用していくかを見極める上で重要な役割を果たしています。」

アングリカン・コミュニオンのジョサイア・イドゥ＝フェアロン総主事は、次のように述べた。「今回の見直しは、ACO設立の背景にある当初の理念に立ち返るものです。この新しい構造によりACOは41の管区が私たちの宣教の5指標を一致協働して実行することを支援し、宣教を推進するために神が私たちに望んでおられる教会の家族になることを可能にします。」

* ACP 事務局運営体制変更に関する詳細は、アングリカン・コミュニオンのウェブサイト参照：anglicancommunion.org/renewal2021.

ウィリアムズ主教記念基金の成り立ちと

現在就学中のペラッツォさんのご紹介

基金名としてお名前を頂戴したチャニング・ムーア・ウィリアムズ主教は1859年に米国聖公会最初の宣教師として来日し、キリスト教に基づく教育を日本の青少年に提供しようと、立教学院など多くの日本聖公会関係学校の設立に尽力されました。しかし、それらの学校は、戦中の軍国主義化や戦後の世相を受け、キリスト教教育の主体性・独自性が失われていきました。クリスチャンの人材養成が後退し関係者達の危機感がつのる中、当時立教大学が米国聖公会の援助で行なってきた学术交流プログラムを継承発展させることを願い、海外から著名なキリスト教講師の招聘(現:記念講座)や開発途上国からの研修員の支援(現:客員研究員プログラム)を目的として、日本聖公会と聖公会関係学校の協働プロジェクトとして第34(定期)総会(1977年)において決議され、同基金が設立されました。設立後には活発な広報活動および国内募金が行なわれ、日本聖公会の教会、関係学校を上げた一大プロジェクトとなり、また、米国聖公会のヴェンチャー・イン・ミッションによる支援も得て活動資金とし、現在に至ります。

記念講座は数年に1名のペースで講師を招聘し、1979年にラムゼイ・カンタベリー大主教にご講演頂いたのを皮切りに、現在まで12名の碩学をお招きし、聖公会関係学校および全国各地の聖公会教会において、講演・セミナーを実施しています。

客員研究員プログラムは1981年～2021年の間に18カ国(インド、韓国、台湾、パキスタン、フィリピン、ミャンマー、ブラジル、ペルー、ウガンダ、エチオピア、ガーナ、ケニア、シエラレオネ、スーダン、タンザニア、ナイジェリア、マラウイ、リベリア)から41名が来日し、産業心理学、看護学、コンピュータ科学、畜産、視覚障

がい者教育、微生物学、母子保健学、中小企業論、行政学、ジェンダー論など、さまざまな学びを終えられました。現在はペルーからいらしたZAMUDIO PERAZZO, Bruno Jose (ザムディオペラッツォ、ブルーノ ホセ)さんが2019年秋に来日し、立教大学にてスポーツ心理学・コーチングを就学中で、3月末に学びを終えます。ペラッツォさんに日々の様子などをご寄稿頂きましたのでご紹介いたします。

(管区事務所 総務主事 金子登美江)

【ペラッツォさんの寄稿】

私の家族が聖公会の信徒だったので、物心ついた時から教会は私の人生と成長において欠かせないものであり、精神的にも個人的にも影響を受けてきました。教会生活を通じて、私は神とキリスト教、そして英国と英国の文化について学ぶことができました。この経験は、神に感謝の気持ちで心を開いただけでなく、好奇心を持って世界に目を向けることにもつながりました。海を渡った水平線の向こうには何が広がっているのか? 他にはどのような文化が存在するのか? 私と同じように新しい世界にも様々な人々が暮らしているというシンプルな発想に、私は物心ついた時から魅了されていました。

あの頃から何年もの月日が流れ、どうにか今の自分に成長することができました。教会で学んだことは、驚くほど今の自分の礎となっています。幾多の苦難や葛藤を経ても、私の神への信仰は揺るぎないものでした。外国文化への興味は天職へとつながり、子供の頃の好奇心は科学的な探究心へと変化しました。世界中を旅するようになるほどの強い探究心が育まれた

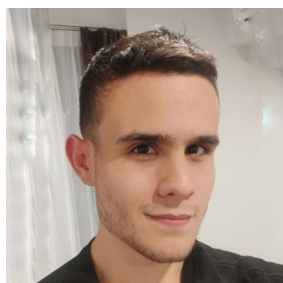
のです。

3年前、通っていた大学に卒論計画を発表したところ、「野心的すぎる」という評価を受けました。そのようなプロジェクトは達成までに何ヶ月もかかるし、学部の卒論の範疇を超えていると言われました。悔しい思いをしましたが、私は諦めませんでした。どんなに落胆したとしても、自分のアイデアに自信を持ち、プロジェクトに取り組むことを決意しました。卒業が近づいてきたとき、その確信を行動に移しました。世界で一番私を魅了した国に研究計画書を送ったのです。何年たっても興味を失わずに文化を学ぶことができる国として、私は日本に書類を送りました。

待ちに待った採用通知が届いた至福の日からパンデミックの期間を含む2年が経過しました。この2年間で私の夢が叶いました。私のアイデアがプロジェクトとなり、ついにそのプロジェクトが完了したのです。「ウィリアムズ主教記念基金」からの素晴らしい支援と、立教大学の多くの研究者の方々のご協力のおかげで、日本の繁栄に関する最初の研究プロジェクトを無事に終えることができました。そして、それは大変素晴らしいものでした。

ブラウン教授が説明されているように、繁栄とは、開発と成功の共同体験です。それを「最高の状態であること」と考えてください。繁栄を体験するという事は、完全にポジティブな経験をすることであり、個人的にも、社会的にも、そして仕事上の面でも、自分の人生を超えていくことです。私は日本での研究生活で、学問的なレベルだけでなく、個人的なレベルでも「成功」について学ぶことができたと感じています。異文化に適応するのは簡単なことではありません。特に、全世界に蔓延している危険なウイルスの影響下では、物事がなかなか上手く運びませんでした。しかし、日本で受けたあらゆるサポートのおかげで、私はこの経験を乗り越えるだけでなく、成功することができたと感じています。

プロジェクトの終わりが近づくにつれ、私は前を向いて未来に目を向けるようになりました。今年の後半に、このプロジェクトが国際的なジャーナルに掲載されれば、世界中の多くの人々がその知識から恩恵を受けることになるでしょう。私の人生における職業上の目標は科学者として知識を創造して、他の人に共有できるようになることです。立教大学での18か月間に、私は研究者としての自分自身を向上させました。現在は、科学者としての第二の使命である、知識の教育と普及に集中する時期だと考えています。そしてもちろん、終わりのない義務である学びを継続することです。信仰が魂を満たすのと同じように、知識は頭脳を養うものです。私は心の中で、魂におられる神への感謝の気持ちを持ちつつ、この新しい世界へ勇敢な第一歩を踏み出します。



Zamudio Perazzo さん

.....

最後になりましたが、これまでの活動に携わられた方々に感謝申し上げます。また、ウィリアムズ主教記念基金の活動を覚え、お祈り頂けますと幸いです。

募金は現在も受け付けております。

ゆうちょ銀行振替貯金

00160-0-67208

加入者名：「ウィリアムズ主教記念基金係」

新型コロナウイルス（COVID-19）に関連する 各教区の対応

北海道教区 礼拝（公禱）の休止なし

- ・教会での礼拝は主日・週日いずれも定時に行かない、誰でも参加可能。
- ・礼拝に関して不安や恐れがある信徒は自宅で礼拝を守ってもよい。

東北教区 礼拝（公禱）の再開

- ・主日礼拝等については、2020/6/7より再開。
- ・葬儀は十分な感染予防対策の上で実施。

北関東教区 礼拝（公禱）の再開または休止

- ・各教会・礼拝堂で協議し、地域社会と共同体の状況により適切な対応を講じる。
- ・葬儀は十分な感染予防対策の上で実施。

東京教区 礼拝（公禱）は再休止中

- ・礼拝について、公開での礼拝は2020年12月27日以降休止中。
- ・葬儀および礼拝堂の公開などは、感染防止の対策の上、それぞれの教会・礼拝堂の状況にあわせて、実施可能。
- ・インターネットによる礼拝等の配信をおこなっている教会がある。

横浜教区 礼拝（公禱）の公開または公開 休止

- ・「礼拝指針」の徹底。
- ・在籍外の教会、また教区を越えての礼拝出席は控える。
- ・東京都に隣接する神奈川県および千葉県に在住で健康に不安のある人は公共交通機関を利用しての来教を控える。
- ・ウイルス感染再拡大への対応として、それぞれの教会または地域の感染状況により、各教会で礼拝再休止の判断をする。

中部教区 礼拝（公禱）の再開または再休止

- ・2020/6/1以降の主日及び週日の礼拝再開時期は『礼拝再開に関するガイドライン』に基づき各教会で判断。
- ・緊急事態宣言下のエリアにある教会は原則礼拝等休止。

京都教区 礼拝（公禱）休止の教会が多く なっている

- ・各教会で判断。2021/2/7まで主日礼拝を休止する教会が多くなっている。緊急事態宣言が3/7まで延長されたので、それに応じた対応をする。

大阪教区 礼拝（公禱）の再開または休止

- ・引き続き2/14から3/7までの礼拝を休止することを認める。
- ・特に、高齢者や体に不安を抱える方には自宅での祈りの時を持つことを強く勧める。
- ・最終的には各教会の判断を尊重する。

神戸教区 礼拝（公禱）の再開または休止

- ・教区内の教会・伝道所は聖餐式（一種陪餐または前部、み言葉の礼拝）を行なっている。
- ・兵庫県と一部地域の教会・伝道所では、礼拝を自粛中。

九州教区 礼拝（公禱）の一部休止

- ・無理に主日礼拝に来ることをお勧めしない（体調の悪い方・公共の交通機関で教会に来られる方など）。

沖縄教区 礼拝（公禱）の休止

- ・原則として沖縄県が出している緊急事態宣言発令中の礼拝は休止。

管区事務所

- ・2020/11/25よりしばらくの間、就業時間の短縮と隔日出勤（平日 月・水・金は10:00-16:30で出勤、火・木は在宅勤務）。
- ・在宅勤務でもメールの送受信は可能。緊急の場合は管区事務所総主事の司祭 矢萩新一まで。

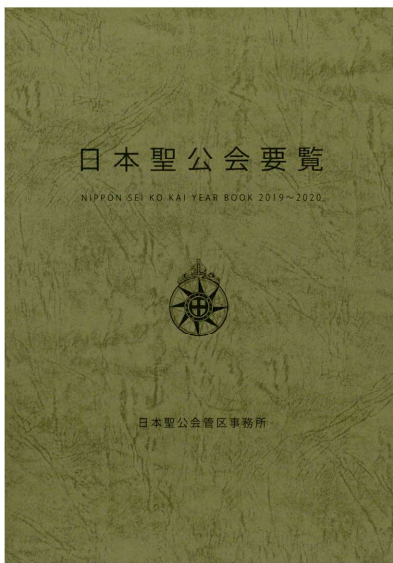
(2021年2月19日現在)



第65(定期)総会を反映した最新の情報を満載!!

日本聖公会要覧

2019~2020



日本聖公会代表役員名簿

総務長官	...
副総務長官	...
...	...

目次

編者	1
序文	1
日本聖公会法廷	1
...	...

B5判
150頁

定期総会毎発行、
日本聖公会にお
ける重要なデー
タベース

新たに歴代首座
主教のポートレ
イト・教役者逝去
記念日を掲載

世界の聖公会
(The Anglican
Communion)の
情報も充実

全国の教会・伝
道所、関係施設
設情報を網羅

1冊1,000円(税込・送料別)

お求めは氏名、住所、電話番号、冊数をご明記の上管区事務所まで

FAX:03-5228-3175 Email:province@nssk.org



日本聖公会管区事務所
2021年1月

聖公会生野センターのための主日



絵・室原壮備（クリンもたん美術教室受講生）

「覆われているもので現されないものはなく、隠されているもので知られずに済むものはない」
(ルカによる福音書 12章2節)

2021年2月28日

朝鮮独立運動(1919年3月1日)を覚えて

日本聖公会

Design by Kim moon nam

『聖公会手帳』2022年度版発行に当たってのお願い

『聖公会手帳』では巻末の特集欄で、日本聖公会が幅広く関わる学術・教育・文化・医療・福祉などの諸分野にわたる社会的活動を〈事業紹介〉として掲載してまいりました(『聖公会手帳2021』382～409頁を参照)。現在編集中の2022年度版『聖公会手帳』では、この〈事業紹介〉の趣旨に

賛同し出稿していただける事業所を新たに募集しております。記事掲載の申し込み・詳細等について管区事務所にお問い合わせください。2021年7月15日までをお願いいたします。

☎03-5228-3171 (総務主事または広報主事宛)

日本聖公会管区事務所ホームページ <http://www.nskk.org/province/>

☆「管区事務所だより」についての要望・寄稿などをメール、また郵便でお寄せください。